



THE SEASONS

春の宴

「お花見」

組立説明書



ペーパークラフト「お花見」をダウンロードしていただきまして、ありがとうございます。シートに記載されている記号と、この説明書を参考に、すべてのパーツを組み立てると、「お花見」のペーパークラフトモデルが完成します。ご家族揃って挑戦してください。

組立説明書 A4・3ページ

クラフト A4シート×2 パーツ総数5

これは「お花見」の組立説明書です。パーツデータは別にダウンロードしてください。パーツデータのプリントアウトには、A4サイズで厚みのある、しっかりした用紙(官製ハガキ程度)をおすすめします。

本サイトの作例ではケント紙の135kg(0.18mm)を使用しています。

1 始める前に

用意する道具・材料

ものさし ハサミ カッターナイフ 鉄筆など先のとがったもの(折り目をつけるためのもの) サインペン ピンセット 接着剤 指先をきれいにしておくおしぼりなど。

注意していただくこと

カッターナイフなど刃物の取扱いには十分にご注意ください。また刃物を使用する場合には、厚紙などを下敷としてお使いください。

接着剤等を使用する際は、室内の換気を十分におこなってください。

データを出力するプリンタの機種によって、出力範囲が異なる場合があります。多少縮小して出力することをお勧めします。

2 作り方

切り方

このペーパークラフトは、右図の工作方法の説明をよく読んで、それぞれのパーツの組立てに必要な工作方法に従って組み立ててください。

外線はカッターナイフやハサミで丁寧に切り取ります。

ワンポイント・アドバイス

カッターナイフで丁寧に切り取ってください。

山折り線は、線に沿って鉄筆など先のとがったもので軽くなぞり、折りやすくしてください。極端に強くなぞると、紙に裂け目ができちゃうので注意してください。

接着剤をつけすぎると、紙にしわができるので注意してください。

作り始める前に用紙の余白部分等で、接着剤の適量をお試しください。接着剤には乳白色の木工ボンドをおすすめします。

小口や折り目が白く目立つ場合は、サインペンや色鉛筆などで補修してください。完成後では補修作業が難しいので、制作段階で確認しながら組み立ててください。

工作上的きまり

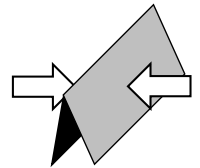
このペーパークラフトの工作方法は、全部で5種類。組立説明書とパーツシートには、各パーツごとに工作方法を示すマークが描かれてあります。下の工作方法の説明をよく読んで、それぞれのパーツの組立てに必要な工作方法に従って組み立ててください。

パーツの記号と番号は、各シートに記されています。

工作方法の表記

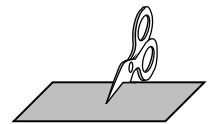
———— (実線)

この部分は山折りにしてください。



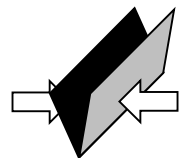
———— (白線)

このマークがついている部品には切り込みを入れてください。

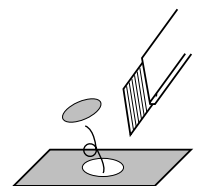


----- (破線)

この部分は谷折りにしてください。



このマークがある部分は切り抜いてください。

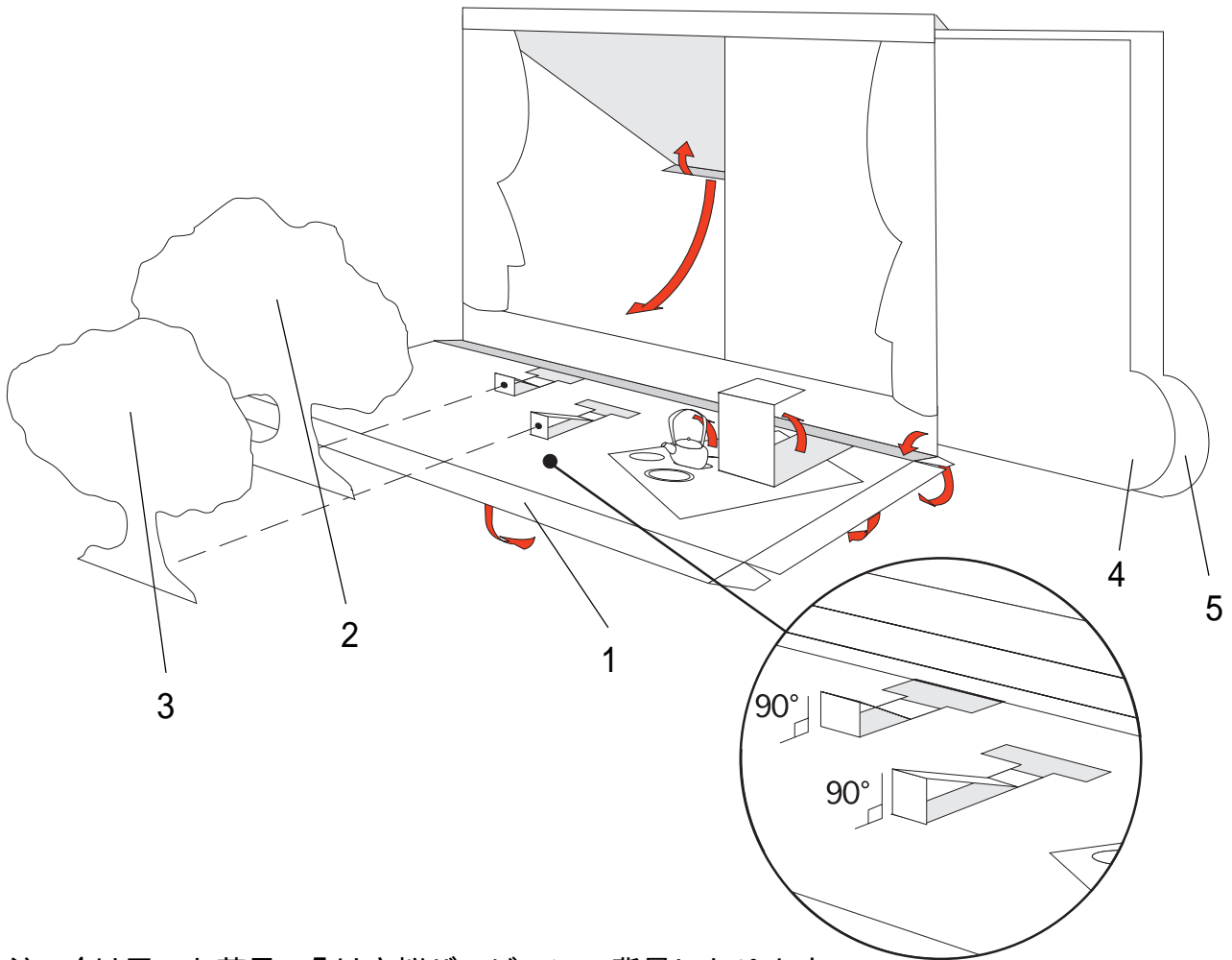


3 組立

各パーツを、組立図と工作方法を参考にして組み合わせてください。

組立図

各部品の取り付け位置などの参考にしてください。



注・4は昼のお花見、5は夜桜バージョンの背景になります。

4 完成

完成写真



お花見

春の歳事、「お花見」のルーツは、古くは8世紀以前にさかのぼり、山の神様に秋の豊作祈願のため、お供え物をしたことが始まりとなっています。

それが平安時代に入り農耕儀礼と遊離して、鑑賞の遊びとなり、江戸時代には民衆の春の行事として定着しました。現在では、日本人にとって国花であるサクラを愛で、飲食をしながら春の訪れを楽しむという日本独特の春の行事として広く世間一般に広まっています。